

伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 近森正利 様	報告者	近森正利 議員名				
研修会名	少子高齢化社会における持続可能なまちづくりを考える 谷口守 筑波大学教授					
日 時	8 月 9日 10時～17時					
場 所	京都経済センター会議室					
【研修の成果】別紙記載						
費用	旅費	円	研修参加費	25000 円	合計	25000 円



少子高齢化社会における持続可能なまちづくりを考える

谷口守 筑波大学教授

都市計画

日本中で乱開発が進み、成人病にかかった日本の都市。

バイオミメティクス(生物模倣学)と言って、生き物と都市は、実はよく似ている。都市で困ったことがあれば、生き物から学ぶべきである。

都市で今、起きている問題は、肥大化(肥満化)して郊外の空き家が増えている。空き家が増えると路線バスが無くなる。災害時にマヒが起きる。

都市の骨粗鬆症とは、田を埋め川を埋めて家を建て、住宅地を造った結果、人口減少により空き家が増え空洞化が進んでいる。

ガン化する町。千里ニュータウンが老朽化し建て替え。人口減少が進んでいるにもかかわらず高層化して住宅戸数を大幅に増やす計画。圏域全体の見取り図を考えていく中での長期的視野にたった計画が必要不可欠。

ドイツは、減築プロジェクトを進めて、公共事業で先回りをして都市計画を進めている。

豊かな都市空間

ドイツのカールスルーエ市のメインストリートはトラムと歩行者のトランジットモールになっている。ショッピングなどで多くの人が集う活気ある街並みは、まさしく市街地のコアと呼ぶのにふさわしい。体に不自由の無い人だけでなく、杖をついてトラムに乗降する老人、ベビーカーを押してショッピングを楽しむ子供連れ、通りをさっそうと走る電動車椅子利用者、ボランティアに付き添われた知的障がい者。通り沿いのカフェに座ると、文字通りすべての人々が生き生きと街を楽しむ姿を眺めることができる。

日本は、官対民の二極構造しかない。1919年の旧都市計画法その後、1968年の新都市計画法が制定されたが、建設省と農水省の縄張り争いで作られた法律により混乱している。都市計画区域は、市町村が主体者であるが、都市マスタープランは、県の方針に従わなければならない。

コンパクトシティ

、連携力、気配り力を発揮して拠点と交通軸を形成し、町の体質改善を推進し町のダイエットを実現。

アメリカ、カナダ、オーストラリアの新大陸は、自動車を中心にまちづくりをした。ヨーロッパ諸国は、自動車を中心にまちづくりをしていない。

日本では、脱炭素化社会を推進するために2012年低炭素まちづくり法、2013年交通政策基本法、2014年都市再生特別措置法が制定された。

まちづくりの定義

生態学者の定義、建築学者の定義など様々である。

ドイツのカールスルーエ市では、路面電車を活用した都市計画を進めている。

市民の公共交通機関の利用頻度が高い。交通ネットワークがしっかりしている。公共交通機関の利用料金が、安く設定されている。

2008年のリーマンショック以降は、経済のためのコンパクトシティとなった。

ヨーロッパの都市では、一般会計から10%の予算が公共交通機関へ支出されている。

日本の公共交通機関は、赤字か黒字かで判断しているが、本来は、使いやすい公共交通の存在がカギである。

領収書等添付用紙

議員名

近森正利

調査研究費・~~研修費~~・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけてください。)

領収書

伊賀市議会
近森正利 様

2022年8月9日

金額

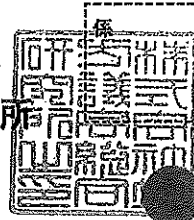
¥ 25,000

但8月9日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒112-0011
東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



同時開催！
オンラインセミナー

議員・職員のための

少子高齢化社会における 持続可能なまちづくりを考える

<概要>

地域活性化、人口減少対策、SDGs、自動運転などのモビリティ・イノベーション、コンパクトシティ、健康まちづくり、社会基盤の維持管理など、現在の自治体行政はまちづくりや都市計画に関する課題にあふれています。またその中身もコロナへの対応、DX（デジタル・トランスフォーメーション）

など時代に応じて急激に変化しており、先を見据えた対応が求められます。この授業では都市計画の基本的な仕組みを理解し、議会对応や住民との対話を進めるうえで知っておく必要のある最新の諸課題を整理するとともに、今後の方向性についても解説を行います。

8月9日(火)

in 京都

◆10:00～13:00

議員のための都市計画 <基礎編>

1. はじめに：
成人病にかかった日本の都市
2. 豊かな都市空間を考える
3. 都市計画の基本的な仕組み
4. コンパクトシティを再考する

◆14:00～17:00

議員のための都市計画 <活用編>

1. 人口の取り戻し方
2. 環境負荷とSDGs
3. スマート化、
サイバー化するまちづくり
4. Beyond コロナのまちづくり



講師：谷口 守【筑波大学教授】

京都大学工学部助手、カリフォルニア大学パークレイ校客員研究員、筑波大学社会工学系講師、ノルウェー王立都市地域研究所文部省在外研究員、岡山大学環境理工学部助教授、同教授を経て平成21年より現職。

国際住宅・都市計画連合（IFHP）評議員、国土審議会・社会資本整備審議会・交通政策審議会専門委員、日本都市計画学会学術委員長・理事などを歴任。著書に『地域・まちづくりワーク：成功に導く進め方と技法』『生き物から学ぶまちづくり』『入門都市計画：都市の機能とまちづくりの考え方』ほか。令和3年度文部科学大臣賞（科学技術賞）受賞。

少子高齢化社会における 持続可能なまちづくりを考える

2022.8.9. 午前の部
(教科書には無い参考スライド)

筑波大学 谷口守

1. 成人病にかかった日本の都市

少子高齢化社会における 持続可能なまちづくりを考える

2022.8.9. 午後の部
(教科書には無い参考スライド)

筑波大学 谷口守

5.人口の取り戻し方

国内地域間での過剰な競争の存在

人口減少予測にあらがうための政策は何か

—地方自治体の推計人口と実人口の乖離に着目して—

伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長

近森正利 様

報告者

議員名 近森正利

研修会名

第26回アメニティーフォーラム

日 時

2月 10日 13時 ~ 2月 12日 13時

場 所

びわ湖大津プリンスホテル

【研修の成果】別紙記載

費用

旅費

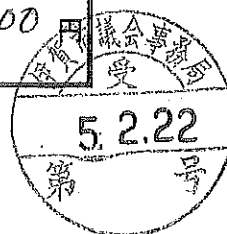
34,100 円

研修参加費

15,000 円

合計

49,100 円



アメニティーフォーラム 26

様々なハンディのある方々が豊かな生活を送るための仕組みづくりを目指して開かれる障害福祉フォーラムです。

バリアフリー映画や演劇、作品展などの芸術に出会いました。

大学教授や国会議員、福祉分野に携わる方々による社会が抱える様々な課題についてのセッションが行われました。

視覚と聴覚の障害を持つ東京大学、福島智教授を描く映画「桜色の風が吹く」は、教授のお話を伺った上での視聴でした。子ども時代に聴覚を失い青年時代に視覚を失い辛い思いを母親と共に乗り越え世界で初めての大学教授になりました。

日本中から集まられた障がい者当事者や障がい者福祉施設運営者、国会議員、地方議員、国の障がい者福祉に携わる者が連携し協議する中で多くの法律が実現しました。

2005年「障害者自立支援法」

2007年国連「障害者の権利条約」に署名

2011年「障害者虐待防止法」・「改正障害者基本法」

2012年「改正児童福祉法」・「障害者総合支援法」・「障害者優先調達推進法」

2013年「改正障害者雇用促進法」・「障害者差別解消法」

2014年「障害者権利条約」批准（2月発効）

2015年「障害者差別解消法基本方針」閣議決定

2016年「改正障害者総合支援法」

「がんの治療を受けながら生きがいをもって生きることの難しさ」～前向きな心を取り戻すために、それぞれにできること～

誰もががんになりうる中、普通の生活の中で心のケアが大切です。

「誰ひとり取り残さない」「全ての国民ががんとどうやって共生していくのか？」今後のがん対策取り組みます。

田島良昭さん 社会福祉法人「南高愛隣会」元理事長

全国に先駆け、福祉の支援を受けられずに犯罪を繰り返す「累犯障害者」の実態調査に取り組んだ。09年には刑務所出所者らを支える「地域生活定着支援センター」を全国で初めて開設した。

入所施設では障害のある人が幸せではないと、ご自身で入所施設を解体し、

障害のある方が納税できるよう働く場を作り、障害のある方も恋愛して結婚できるよう結婚相談所を作り、福祉関係者だけでなく地域の人達を巻き込んだコミュニティを作り、罪に問われた障がいのある方を地域に戻す制度を作り、障がいのある人が普通の暮らしができるようにとの願いのもと、困難を乗り越え実現してこられた。

障がい者福祉は、多くの方々の努力によって着実に前進していますが、理解が進み本当の共生社会の実現はこれからです。心豊かな社会の実現が必要です。

領収書等添付用紙	議員名	近森正利
調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費 人件費・事務所費 (該当項目に○をつけてください。)		

領収書
RECEIPT



びわ湖大津プリンスホテル
〒520-8520
滋賀県大津市におの浜4丁目7番7号
TEL. (077) 521-1111 FAX. (077) 521-1110
www.princehotels.co.jp/otsu/

お名前 近森 正利 様

お部屋番号 1214 ご人数 1
 到着 2023/02/10 ご出発 2023/02/12

週付	説明	部屋番号	料金	お支払等	備考
02/10	楽天ステパホテル	1214		2,956	
	2泊ご宿泊料金		39,131	*	
			23,210		
ご利用金額 39,131			ご請求金額 36,175 (内消費税: 3,000)		

印紙税申告納
紙つき大津
税務署承認済

領収書等添付用紙	議員名	近森正利
調査研究費・ <input checked="" type="checkbox"/> 研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費 人件費・事務所費		(該当項目に○をつけてください。)

入出金明細

作成日 2023/02/03
対象期間 2022/12/01 ~ 2022/12/31

金融機関名 [REDACTED] 貯金種目 普通貯金
支店名 [REDACTED] 口座番号 [REDACTED]

取引日 お支払金額(円) お預り金額(円) 取引後残高(円) 摘要

2022/12/05	15,000		[REDACTED]	カード振込 アメニテ イフォーラムジツ
2022/12/05	440		[REDACTED]	手数料

伊賀市議会議員
近森 正利 様

アメニティーフォーラム26

参 加 票

この度は、アメニティーフォーラム26にお申し込みいただき、ありがとうございます。
フォーラムの参加票を送付いたします。なお、資料は2月初旬に Google Drive より各自
ダウンロードいただけるよう準備いたします。
また、フォーラム期間中のご宿泊、お食事は各自でご手配ください。

当日の受付の際に、本状を印刷した物または画面表示でご提示ください。
参加票は、参加者お一人につき、1通発行しております。
内容に誤りがある場合や変更を希望される場合は、下記事務局までご連絡ください。

○ 当日の参加受付について

受付開始 2023年(令和5)年2月10日(金) 12:00~

場 所 びわ湖大津プリンスホテル コンベンションホール「淡海」2階

■ 参加者氏名

近森 正利 様

■ 受付番号(お問い合わせ番号)

F049

■ 入金状況

費用合計	¥15,000	2022.12.5 付入金
------	---------	---------------

■ 通信欄

アメニティーフォーラム実行委員会事務局
〒355-0008 埼玉県東松山市大谷590(社福) 590
TEL: 080-7701-5336 E-mail: shien.net.japan.s@gmail.com
担当: 丹羽(にわ)

2月10日(金)

第26回アメニティフォーラムは「詩劇」から始まります！

詩劇① 詩を奏でる ～俳優のことはとリズムを刻む身体が呼応する詩の世界～

A

13:00

【御代田太一からのオープニング・レポート】

アメニティのプログラム作りのためにポストンに出張してきました！～その内容をレポートします～ 御代田太一(グローバル理事長付企画室)

1

13:30

【基調講演】共生社会の話し・はじまり・始まり

しっかり聞こう！「誰も取り残さない社会、みんなで痛みを分け合う社会とは」 奥田知志(認定NPO法人拘構理事)

2

14:10

福島智さんのお母さんをモチーフにした・映画「桜色の風が咲く」が完成しました。

福島智(東京大学先端科学技術研究センター教授) 松本准平(映画「桜色の風が咲く」監督) 小室等(ミュージシャン) 進行は、山上徹二郎(バリアフリー映画研究会副代表)です。

B

16:40

映画「桜色の風が咲く」(バリアフリー版)の上映を行います。

16:50

休憩

18:50

君らはヨシモトぐらい面白い！芝居・妖怪バリエーションをやっつける！」インクルーシブ劇団 夢屋(自立生活夢宙センター)

20:00

国土交通省政務官・古川康(衆議院議員)さんをお迎えして！～公共交通の課題、楽しいアイデアで解決策が見つけれたらと～

3

20:30

伊藤みどり(全国移動サービスネットワーク事務局長) 岡部浩之(清心会副理事長) 佐藤聡(DPI日本会総務部長) 古川康(自民党・衆議院議員) 進行は、蒲原基道(元厚生労働事務次官)さんをお願いしました。

22:10

共に育つ時間と場所が、豊かな社会を創ると思うのです。～ゆうかり保育園の取り組みから、私たちが学ぶこと～

古川康(自民党・衆議院議員) 宮路拓馬(自民党・衆議院議員) 尾上浩二(DPI日本会副理事長) 水流源彦(第24回糸賀一雄記念奨励賞・ゆうかり理事長)

※この時間帯にご登壇頂ける方々、アメニティならではの思いかもしれませんか、大切なインクルーシブのお話しが展開されます。

4

23:30

2月11日(土)

ジュネーブの熱気をお伝えします！ 国連障害者権利条約・対日審査の総括所見の報告

大河内直之(東京大学先端科学技術研究センター特任研究員) 崔榮繁(DPI日本会総務部長補佐) 田中正博(全国手をつなぐ育成会連合会専務理事) 宮路拓馬(自民党・衆議院議員) 進行：山口麻衣子(全国地域で暮らすネットワーク理事)

5

8:30

強度行動障害者のある人を支える仕組みに、未来はあるのか？～頑張っても、頑張っても越えられない何かがあり、支援技術だけの課題にはして欲しくない～

林晃弘(フラット理事長) 長田和也(いっくふ名水会理事長) 津曲共和(厚生労働省障害福祉課長) 進行は、福島龍三郎(全国地域生活支援ネットワーク理事)さんに。

9:20

日本博を契機に向上する障害者の文化芸術へのアクセシビリティ～誰もが文化芸術とともに暮らせることの大切さを～

杉野可愛(文化庁文化芸術・国際連携文化芸術創造室長) 太下義之(文化政策研究者・同志社大学教授) 曾根直樹(日本社会福祉事業大学准教授)

渡辺弘(埼玉県芸術文化振興財団ゼネラルアドバイザー) 進行は、文化から福祉にやって来た西川寛司(グローバル芸術文化担当理事)さんに。

7

10:40

休憩

12:00

改正障害者総合支援法について～今回の改正で、地域生活はどのように進むのか～

講演 辺見聡(厚生労働省障害保健福祉部長) 指定討論者①水流源彦(全国地域生活支援ネットワーク理事長) ②尾上浩二(DPI日本会副理事長) 進行：丹羽彩文(社会政策研究センター委員)

8

13:00

15:30 村木厚子(津田塾大学客員教授) 田島光浩(南高愛隣会理事長) 高原伸幸(全国地域生活定着センター協議会長) 矢田貝泰之(厚生労働省障害保健福祉部企画課長) 進行は、元埼玉県立大学学長の佐藤進さんです。

15:40 夢のような世界への期待? それとも置いていかれる不安? ~誰一人取り残されなない、人にやさしいデジタル社会の実現に向けて~

16:55 土生栄二(内閣官房内閣審議官兼デジタル田園都市国家構想実現会議事務局員) 講演を受けて質問です! 牛谷正人(グローバル理事長) 大原裕介(ゆゆう理事長)

17:05 作る法律、見直す法律! ~障害者基本法の見直し・高次脳機能障害者支援法の制定・2025万博に障害者の芸術を~

18:20 衛藤晟一(自民党・障害児者問題調査会顧問) 山本博司(公明党・障害者福祉委員会顧問) 田畑裕明(自民党・厚生労働部会長) 高木美智代(公明党・顧問) 指定討論者④久保厚子(全国手をつなぐ育成会連合会・会長) ⑤渡邊修(東京慈恵薬科大学教授) ⑥石川准(内閣府障害者政策委員会委員長) 進行は、野澤和弘(福草学園大学副学長)さんをお願いしました。

19:20 休憩

21:40 バリアフリー演劇「Touch ~孤独から愛へ」 東京演劇集団風 昨年の公演以来、たくさんの「もう一度、観たい」という声があり、アメニティーフォーラム事務局に寄せられました。

22:00 詩劇②・詩劇③ 詩を奏でる ~俳優のことはとリズムを刻む身体が呼応する詩の世界~

23:10 アフタートーク 以前にこの芝居を観て、衝撃を受けました!

23:15 野澤和弘「この感動を言葉にできないまま、ここにいます」(福草学園大学副学長) 江原早哉香「バリアフリーという意味を探し続ける」(東京演劇集団風 演出) 村木太郎「私は芝居が好きなんです、そういう立ち位置から」(大正大学地域福祉研究所教授) 進行は、竹嶋信洋(ベストサポート代表)さんに。

公開同窓会! 懇話を飲みながら! ※手話通訳はありません

同級生の様々な人生の選択があった。今、どんなことを考えているのか、公開で語り合います。題して、「僕らはいつも、旅の途中!」

御代田太一(グローの教団施設で働いて、これが中々面白くない) 青木凌(法学部を卒業して、パブリックな金融機関で日々働いております) 福田開史(厚生労働省に就職しました。このフォーラムには大先輩が多いので緊張しています)

山田彰城(城崎コンサルタンツ会社に就職後、がん創業スタートアップに乗っかって) 進行は、平下耕三さん(自立生活支援センター/JIL代表)と、下里晴朗さん(ほっと未来SOULZOU舎理事長)で。

※唯一の心配は、こんな時間に私たちの話しを聞いてくれる人はいらるかということ。しみじみとした同窓会に、ご期待ください。

3月21日(日)

8:45 がんの治療を受けながら生きがいをもって生きることがの難しさ ~前向きな心を取り戻すために、それぞれにできること~

伊原和人(家族の立場から:厚生労働省保険局長) 金森楊子(本人の立場から:グローバル特別養護老人ホームふくらま主任看護師) 村木厚子(津田塾大学客員教授)

10:00 安藤よし子(本人の立場から:元厚生労働省人材開発統括官) 進行は、岡山慶子(朝日エール会長・「患者の心を誰が見るのか」の著者)さんです。

11:15 鼎談! 新しい貧困と孤独の中で、私たちが探しているもの ~お互いに伴奏をしながら生き延びる人生を~

奥田知志(認定NPO法人施設理事長) 齋藤誠一(グローバルひのたに団施設長) 村木厚子(津田塾大学客員教授)

11:20 これからの社会保障の話を聞こう! ~樂觀でもなく悲観でもなく、そこに迫る2040のデータから考える~

伊原和人(厚生労働省保険局長) 講演を受けて質問です! 岩上洋一(全国地域で暮らすネットワーク代表) 高木美智代(公明党・顧問)

12:40 昨年引き続き、若者で締めましょう! ~芝居もあってシンポジウムもあって、そんなことを一緒に学べるアメニティーのプログラムは楽しかった~

堀名悠(師・大学時代はラグビー部です) 渋谷愛(東京演劇集団風・役者) 中曽根鈴音(STEPエスどがわ聴覚障害権利擁護担当) 進行は、安藤よし子(元厚生労働省人材開発統括官)大先輩をお願いしました。

14:30 糸賀一雄記念賞音楽祭が同じ大津プリンスホテルで行われます。是非、お楽しみ下さい! 総合プロデュース 小室等(ミュージシャン)

16:00



8:30 ~ 10:30
心と身体の新エッセンスを知る
ワークショップ
会場:コンベンションホール淡海6
(定員15名)

13:00

14:00

15:00

16:00

17:00

18:00

19:00

20:00

21:00

22:00

23:00

田島良昭がいた時代。
その規格外の優しさに触れた人たち
～昨年に引き続き、もう少し言葉にしておきたい～

@アメニティーフォーラム26

(2023/02/11)

一般社団法人 全国地域生活定着支援センター協議会
代表理事 高原伸幸